

医学学位プログラム シラバス Syllabus

科目名・科目番号 Subjects/Course Number	0BTNE61/0BTNE63 臨床外科学特論I / 臨床外科学特論II	0BTNE65 / 0BTNE67 臨床外科学演習I 臨床外科学演習II	0BTNE69/ 0BTNE68 臨床外科学実験実習I 臨床外科学実験実習II
研究分野 Laboratories	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学
使用言語 Language used (Japanese, English, Bilingual)	Bilingual	Bilingual	Bilingual
他研究室学生の受け入れの可否(○×)	○ possible	○ possible	○ possible
Availability for Students from Other 他研究室学生の参加に関する問い合わせ先	清水如代 shimiyukig(at)md.tsukuba.ac.jp	Yukiyo SHIMIZU shimiyukig(at)md.tsukuba.ac.jp	清水如代 shimiyukig(at)md.tsukuba.ac.jp
Contact Information for Students 授業形態	講義	Lecture	Seminar
標準履修年次 Adequate years	1・2年次	1 or 2	1 or 2
実施学期・曜時間等 Semester/Day and Period	I 春学期、II 秋学期	I Spring semester / II Autumn semester	I 春学期、II 秋学期
開講場所 Room Number	セミナー室、他	Conference room, other	Conference room, other
単位数 Credit	I :2単位、II :2単位	Spring and Autumn semester, 2 x 2 credits	I :2単位、II :2単位
担当教員名・オフィスアワー等 Faculty Members and E-mail	(事前にメールで連絡すること) 羽田 康司 y-hada(at)md.tsukuba.ac.jp 松元 秀次 m-shuui(at)md.tsukuba.ac.jp	(make an appointment by E-mail) HADA Yasushi y-hada(at)md.tsukuba.ac.jp MATSUMOTO Shuui m-shuui(at)md.tsukuba.ac.jp	(事前にメールで連絡すること) 羽田 康司 y-hada(at)md.tsukuba.ac.jp 松元 秀次 m-shuui(at)md.tsukuba.ac.jp
授業概要 Course Overview	リハビリテーション医学に関する各分野(障害医学、臨床神経生理学、義肢装具学など)について、解剖学や基礎研究ならびに臨床研究などを組み合わせた研究内容を題材とした講義と討論を通じて、整形外科の実験研究を企画・実施・評価できる能力を育成する。 1. 自らの研究の目的、方法、研究結果とその意義、今後行うべき研究について発表できる。 2. 自らの発表内容に対する質問とコメントを受け、応答する。他の学生は、発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のために質問や討論を行う。	リハビリテーション医学に関する各分野(障害医学、臨床神経生理学、義肢装具学など)を学ぶとともに、医工連携やロボットリハ、障害者スポーツなどを通じて、リハビリテーションに関わる臨床研究を行う。 1. on lineの検索システムを用い、最新の原著論文の中から、読むべき論文を選ぶことができる。 2. 選んだ論文を読んで理解し、定められた時間内にその概要を他の学生に説明し、他の学生からの質問に答えることができる。 3. 他の学生が選んだ論文を事前に読み、その説明を聞いて理解し、疑問点や当該研究の意義について討論することができる。 4. 個々の原著論文の歴史的意義を説明することができる。	リハビリテーション医学に関する各分野(障害医学、臨床神経生理学、義肢装具学など)を学ぶとともに、医工連携やロボットリハ、障害者スポーツなどを通じて、リハビリテーションに関わる臨床研究を行う。 1. リハビリテーション医学研究の基礎を習得する。具体的には、対象となる介入研究に必要な評価方法、統計解析、倫理的指針などを習得する。 2. 各自テーマ毎に研究計画を立て、遂行する。 3. 自らの研究計画および結果について、該当分野における創造性および意義を評価し、次の計画に反映する。 4. 各自の研究結果および意義について、研究グループ内で毎週報告し、互いの結果について討論を行う。 5. 最終的には当該分野の学術学会における発表を目標とする。
学位プログラム・コンピテンスの関係 Competence (学位P共通)	【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、 【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、	【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、	【汎用】知の創成力 【汎用】知の創成力 【専門】先端研究遂行力、専門知識運用力情報発信力、
授業の到達目標(学修成果) SBO(Specific Behavior Objectives)	リハビリテーション医学に関する各分野(障害医学、臨床神経生理学、義肢装具学など)について、解剖学や基礎研究ならびに臨床研究などを組み合わせた研究内容を題材とした講義と討論を通じて、整形外科の実験研究を企画・実施・評価できる能力を育成する。 1. 自らの研究の目的、方法、研究結果とその意義、今後行うべき研究について発表できる。 2. 自らの発表内容に対する質問とコメントを受け、応答する。他の学生は、発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のために質問や討論を行う。	英文原著論文の抄読を行い、リハビリテーション医学に関する一連の研究の内容と水準を理解し、また世界の研究の動向を掴み、独創的で価値の高い自分自身の研究プロジェクトを企画できるようにする。 1. on lineの検索システムを用い、最新の原著論文の中から、読むべき論文を選ぶことができる。 2. 選んだ論文を読んで理解し、定められた時間内にその概要を他の学生に説明し、他の学生からの質問に答えることができる。 3. 他の学生が選んだ論文を事前に読み、その説明を聞いて理解し、疑問点や当該研究の意義について討論することができる。 4. 個々の原著論文の歴史的意義を説明することができる。	リハビリテーション医学研究の基礎となる臨床研究手法を理解し習得した上で、自ら能動的に研究を企画・実施することを通じて、医学研究の発展・向上を志す者となる基礎を築く。 1. リハビリテーション医学研究の基礎を習得する。具体的には、対象となる介入研究に必要な評価方法、統計解析、倫理的指針などを習得する。 2. 各自テーマ毎に研究計画を立て、遂行する。 3. 自らの研究計画および結果について、該当分野における創造性および意義を評価し、次の計画に反映する。 4. 各自の研究結果および意義について、研究グループ内で毎週報告し、互いの結果について討論を行う。 5. 最終的には当該分野の学術学会における発表を目標とする。
キーワード Keyword			
授業計画 Course Schedule	火曜 2・3限(10:10-12:55) 学生は割り当てられた日程の授業において、自らの研究の目的、方法、研究結果とその意義、今後行うべき研究について発表し、質問とコメントを受け、応答する。他の学生は、発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のために質問や討論を行う。	火曜 1限(8:40-9:55) 学生に論文選択とその内容解説を順に割り振る。割り振られた学生は、選んだ論文を予め申告して他の学生に周知し、授業前に読んで理解しておく。授業では定められた時間内にその概要を担当教員および他の学生に説明し、質問に答える。割り振られた以外の学生は、論文を事前に読み、疑問点や当該研究の意義について討論する。討論には、当該原著論文の歴史的意義についても含まれる。	研究テーマを設定したのち、各自研究テーマに沿った研究手法を中心として、研究手法の基礎を習得しつつ、自ら企画した実験立案に基づいて実験を遂行し、結果発表し討論する。そうした結果と討論に基づいてその後の実験計画を立案し、実験遂行、結果発表、討論、というサイクルを繰り返す。
第1回(月日、時間)担当教員名 講義 内容など Course Prerequisites	医学学位プログラム1年次または2年次であること	医学学位プログラム1年次または2年次であること	医学学位プログラム1年次または2年次であること
成績評価方法 Grading Philosophy	C以上の判定基準:SBOの1、2を指導に従って大旨できている。 B以上の判定基準:C以上と判断され、かつ積極的に3を行っている。 A以上の判定基準:B以上と判断され、かつ4、5を指導に従って概ねできていると判断される。 A+の判定基準:A以上と判断され、かつ1~5について特に優れていると判断される。	C以上の判定基準:SBOの1と2について平常点として評価し大旨できている。 B以上の判定基準:C以上と判断され、かつ3について積極的にやっている。 A以上の判定基準:B以上と判断され、かつ4を行うことができていると判断される。 A+の判定基準:A以上と判断され、かつ特に優れていると判断される。	C以上の判定基準:各自の研究テーマについて適切に理解している。 B以上の判定基準:C以上と判断され、かつ研究テーマについて能動的に実験を立案、実行できている。 A以上の判定基準:B以上と判断され、かつ研究テーマの意義について適切に説明、討論を行うことができる。 A+以上の判定基準:A以上と判断され、かつ論文執筆に十分なレベルと評価される。
学習時間の割り当て及び授業外における学修方法 Learning method	講義と討論 100% 授業外における学修方法:学修内容を再確認しながら自らの研究活動を行う。	演習(セミナー) 100% 授業外における学修方法:学修内容を再確認しながら自らの研究活動に活用する。	実験実習 100% Practice 100%
教材・参考文献 Textbook	DeLisa's Physical Medicine and Rehabilitation: Principles and Practice, 6th edition, Wolters Kluwer	DeLisa's Physical Medicine and Rehabilitation: Principles and Practice, 6th edition, Wolters Kluwer	DeLisa's Physical Medicine and Rehabilitation: Principles and Practice, 6th edition, Wolters Kluwer
単位取得要件 Requirement to earn credit	単位取得要件:80%以上の出席 他研究室の授業への出席:推奨	単位取得要件:80%以上の出席 他研究室の授業への出席:推奨	単位取得要件:80%以上の出席。SBOが概ね達成されていること。 他研究室の授業への出席:推奨
その他(受講上の注意点等) Notes	発表はパワーポイントなどを使用し行うこと。 わからないことは、その場で質問し解決すること。 科学的、論理的、厳密な議論を行うこと。	時間内に重要なポイントを整理して発表すること。 わからないことは、その場で質問し解決すること。 科学的、論理的、厳密な議論を行うこと。運動器系制御医学演習・運動器系制御医学実験実習とセットで受講すること	わからないことは、その場で質問し解決すること。 科学的、論理的、厳密な議論を行うこと。
他の授業科目との関連	臨床外科学演習I, II 臨床外科学実験実習I, II	臨床外科学特論I, II 臨床外科学実験実習I, II	臨床外科学特論I, II 臨床外科学演習I, II